

「Finland-Japan Friendship Event」
藤村大使挨拶
(11月1日18時、於:ユヴァスキュラ市庁舎)

ティモ・コイヴィスト・ユヴァスキュラ市長、ユハニ・リーベルグ・ユヴァスキュラ・フィンランド日本協会会長、そしてご来賓の皆様、こんばんは。駐フィンランド日本大使の藤村和広です。皆様にお会いできて嬉しく思います。

本日お集まりの皆様は既にご存じかと思われませんが、本年2022年は日本とフィンランド両国の友好関係にとって特別な年です。

1792年、フィンランド人博物学者のエリク・ラクスマンによる献身的な尽力により、シベリアに漂流した日本人船頭の大黒屋光太夫は、長年切望していた日本帰国を果たしました。今年は光太夫の日本帰国からちょうど230年目の節目に当たります。

この出来事が、史実上フィンランド人と日本人の初めての交わりだったと言われており、日本大使館は、これまでの両国間交流を振り返り、より強固に結びつき、さらに発展していくように今年を「日フィン友好年2022」と銘打ち、様々な事業を開催してきています。

また、今年はユヴァスキュラ市と埼玉県新座市が友好姉妹都市提携をしてから25周年を迎えます。

この2つの節目の年を祝うため、大使館は昨年からユヴァスキュラ市や関係団体とともに「フィンランド・日本友好ウィーク 2022」を企画してきました。本日の「フィンランド・日本友好イベント」もこの「友好ウィーク」のプログラムのひとつです。

「友好ウィーク」では、一足早く10月6日から始まった友情写真展巡回展をはじめ、童話、紙芝居、合気道、書道等多様な日本文化を体験することができます。

今年5月にマリン首相が訪日され、岸田総理と首脳会談を行い、日本を「Trusted Partner」と評されました。最近では9月の国連総会の場で岸田総理とニーニスト大統領が会談され、さらに先般の安倍元総理の国葬儀にはフィンランドを代表してハーヴィスト外務大臣が訪日され、林外務大臣との間で会談を行いました。

これらは230年前から始まった日本とフィンランド両国の友好関係が今日まで力強く受け継がれていることの証左と言えます。こうした良好な友好関係はもちろん両国の政治家同士だけで培われてきたものではありません。本日お集まりの皆様のように日本や日本文化に関心を抱かれた方々が日本とフィンランド両国の交流促進に地道に取り組まれてこられたからに他なりません。この場をお借りして改めて御礼申し上げます。

「フィンランド・日本友好ウィーク 2022」を通じて、ユヴァスキュラ市と新座市、さらには日本とフィンランドの友好関係がさらに強固なものとなることを祈念します。

どうもありがとうございました。

(了)